

# 令和3年度学術委員会活動報告

令和4年5月30日

国臨協関信支部学術委員会

## 1. 活動報告

学術委員会は委員長1名、副委員長1名（部門長兼任）、部門長5名、部門員17名により、8つの検査部門にて構成される。令和3年度においては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みつつ、Web会議ツールを活用しながら国臨協関信支部学術委員規程第4条（事業）に則り、会員の学術と技術の向上を図る活動を行った。活動内容の詳細については、「3.学術委員会活動報告」をご参照いただきたい。

## 2. 学術委員会（検査部門）構成

### ➤ 委員長

林 元久（NHO 宇都宮病院） ※ 生化学検査部門員 兼任

### ➤ 副委員長

芦川 晋（NHO 信州上田医療センター） ※ 生理検査部門長 兼任

### ➤ 検体検査部門

#### 1) 血液検査

白井 洋平 部門長（NHO 高崎総合医療センター）

秋江 健太 部門員（国立がん研究センター東病院） ※ 一般検査 兼任

#### 2) 生化学検査

林 元久 部門員（NHO 宇都宮病院） ※ 委員長 兼任

石川 政志 部門員（NHO 東京医療センター）

#### 3) 血清検査

井田 貴明 部門員（NHO 相模原病院）

#### 4) 一般検査

秋江 健太 部門員（国立がん研究センター東病院） ※ 血液検査 兼任

### ➤ 輸血検査部門

竹内 紗耶香 部門長（国立がん研究センター中央病院）

平木 三穂 部門員（NHO 埼玉病院）

山邊 ゆかり 部門員（NHO 信州上田医療センター）

### ➤ 微生物検査部門

小川 佳亮 部門長（NHO 栃木医療センター）

太田和 秀一 部門員（国立国際医療研究センター国府台病院）

小林 昌弘 部門員（NHO 茨城東病院）

- 病理検査部門
  - 時田 和也 部門長（国立がん研究センター中央病院）
  - 我妻 美由紀 部門員（NHO 東京病院）
  - 大内 結衣 部門員（NHO 東京医療センター）
- 生理検査部門
  - 芦川 晋 部門長（NHO 信州上田医療センター）
  - 大西 文香 部門員（国立精神・神経医療研究センター病院）
  - 曽根 早矢佳 部門員（国立国際医療研究センター病院）

### 3. 学術委員会活動報告

#### 1) 国臨協関信支部学会について

テーマ「挑戦～臨床検査に今出来ること～」

開催日：令和3年9月4日（土）ライブ配信

令和3年9月6日（月）～9月12日（日）オンデマンド配信

開催方法：Web形式学会（Zoom ウェビナーによるライブ、オンデマンド配信）

学会長：吉田 茂久（NHO 渋川医療センター）

#### (1) 学会賞（学術奨励賞、学会特別賞、新人賞）の選考

学術委員会から選出された委員により、国臨協関信支部表彰規程第4条（選考）に基づき選考した。また、支部ニュース第226号（令和3年11月発行）にて学術委員会副委員長による各賞の選考結果及び選考理由の報告、および関連記事の掲載を行った。

- ① 学術委員会の部門員17名が学会抄録23題の査読を行い、10項目5段階（加点評価方法）で1次選考を実施した。
- ② 学会賞選考委員（5名）を組織し、1次選考の結果を踏まえて、学術奨励賞候補3題、学会特別賞候補4題、新人賞候補3題を選出した。
- ③ 2次選考の結果をもとに学会賞選考委員でスライド内容について6項目を評価し、Web会議での最終選考委員会（令和3年9月7日開催）にて各賞の受賞者を減点/加点評価方法で選出し、第49回国臨協関信支部学会学会長に答申を行った。

#### 【学会賞選考委員会メンバー】

- 委員長：林 元久 学術委員会委員長（NHO 宇都宮病院）
- 副委員長：芦川 晋 部門長（NHO 信州上田医療センター）
- 委員：時田 和也 部門員（国立がん研究センター中央病院）
- 委員：竹内 紗耶香 部門長（国立がん研究センター中央病院）

- 関信支部：遠藤 隆 国臨協関信支部学術担当副支部長  
(NHO 横浜医療センター)

#### 【各学会賞の受賞者】

- 学術奨励賞：「生理機能検査室におけるスキン-ケア予防について他部門との取り組み」  
田中 亜由美 氏 (NHO 千葉医療センター)
- 学会特別賞：「超音波診断装置による中手骨指節骨間関節測定の検者間信頼性の検討」  
吉井 聖恵 氏 (NHO 茨川医療センター)
- 学会新人賞：「当センターにおける新生児聴カスクリーニングの変遷」  
濱田 雄暉 氏 (国立成育医療研究センター)

#### (2) 学会運営の協力

本学会において学会企画「学術委員会による分科会」をライブ配信にて開催した。

- ① 輸血検査部門：不規則抗体検査（スクリーニング・同定）の手順と注意点  
講師：竹内 紗耶香 部門長 (国立がん研究センター中央病院)
- ② 病理検査部門：病理検査室の安全管理～インシデント事例から学ぶ安全管理～  
講師：時田 和也 部門長 (国立がん研究センター中央病院)  
大内 結衣 部門員 (NHO 東京医療センター)

## 2) 国臨協関信支部主催研修会について

- (1) 令和3年度国臨協関信支部主催 第2回研修会  
開催日：令和3年10月29日（金）～令和3年11月12日（金）  
テーマ：「血液検査の精度管理 凝固検査の基礎とトピックス」  
第2部「凝固検査の知っておきたい基礎知識と最近のトピックス」  
講師：白井 洋平 検体検査部門長 (NHO 高崎総合医療センター)
- (2) 令和3年度国臨協関信支部主催 第3回研修会  
開催日：令和3年12月13日（月）～令和3年12月27日（金）  
テーマ：「新型コロナウイルスについて」  
第2部「SARS-CoV-2 検査のための検体採取方法について」  
講師：小林 昌弘 微生物検査部門員 (NHO 茨城東病院)
- (3) 令和3年度国臨協関信支部主催 症例検討会  
開催日：令和4年2月19日（土）  
第1部：「症例検討会<救急症例>」  
講師：曾根 早矢香 生理検査部門員 (国立国際医療研究センター病院)

### 3) 学術委員会（部門ごと）主催の技術研修会

例年、学術委員会各部門主催の実技研修会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、令和3年度の開催を見送った。

### 4) 支部ニュース「身に付けよう覚えよう検査技術」への投稿

会員に対する「学術と技術の向上」を図ることを目的として、学術委員会として国臨協関信支部ニュースの「身に付けよう覚えよう検査技術」に学術情報の提供を行う為に投稿を行った。

(1) 第226号（令和3年11月発行）

執筆者：小川 佳亮 微生物検査部門長（NHO 栃木医療センター）

テーマ：「抗酸菌検査について」

(2) 第228号（令和4年4月発行）

執筆者：小川 佳亮 微生物検査部門長（NHO 栃木医療センター）

テーマ：「症例ごとの抗酸菌検査の解釈について」

### 5) 支部ニュース「Case Study」の監修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修会開催が困難な状況を鑑み、会員への学術支援の一助として支部ニュース第222号より「Case Study」が収載され、設問および関信支部HP掲載用の回答・解説について監修を行った。

(1) 第225号（令和3年8月発行）

テーマ：「敗血症について」

監修：小川 佳亮 微生物検査部門長（NHO 栃木医療センター）

(2) 第227号（令和4年1月発行）

テーマ：「CBC 誤差要因について」

監修：白井 洋平 検体検査部門長（高崎総合医療センター）

### 6) Q&A 対応（ルーチンアドバイス）

会員からの検査時の問題点や疑問点に対して相談に対して援助を行うため、ルーチンアドバイス事業（Q&A）を行っている。例年「Q&A 入力用紙」（Excel）にて質問事項を受理し、各検査部門長が中心となり回答内容作成し、迅速な対応を行っている。

回答内容は、国臨協関信支部HP：会員専用ページの学術委員会・ルーチンアドバイス事業欄（<https://kanshinshibu.org>）に掲載を行い、会員に対して情報提供に努めている。

(1) 国臨協関信支部東京地区会 会員 質問領域（輸血検査部門）

質問内容「血液製剤運搬時の保冷剤について」

受付日：令和3年11月4日（木）

対応日：令和3年11月5日（金）

対応者：竹内 紗耶香 輸血検査部門長（国立がん研究センター中央病院）

(2) 国臨協関信支部神奈川地区会 会員 質問領域（輸血検査部門）

質問内容「不規則抗体検査の有効期間等について」

受付日：令和3年12月17日（金）

対応日：令和4年1月19日（水）

対応者：竹内 紗耶香 輸血検査部門長（国立がん研究センター中央病院）

(3) 国臨協関信支部神奈川地区会 会員 質問領域（輸血検査部門）

質問内容「輸血後の使用済み製剤バックの保存方法等について」

受付日：令和4年2月16日（水）

対応日：令和4年3月7日（月）

対応者：竹内 紗耶香 輸血検査部門長（国立がん研究センター中央病院）